



探究学習 テーマ設定スタートワークシート

といのタネ

このワークシートは、探究のテーマがまだ決まっていない人が、気になることを問いの形に変えて、仮説と調べ方までを1枚で組み立てるための記入用紙です。上から順番に書き進めると、次にやることが決まった状態でこの用紙を閉じられます。書いた内容はそのまま提出物にせず、下書きとして使う想定です。

興味の種を書き出す欄

ここでは、探究テーマとしての良し悪しを気にせず「なんとなく気になること」を思いつくまま書き出します。まずは数を出すことが目的です。

1. (例)コンビニのおにぎりの種類が地域によって違う気がする
2. 学校の授業や部活で気になったこと：_____
3. ニュースや動画で見て気になったこと：_____
4. 家や地域の生活で気になったこと：_____
5. 友達との会話で引かれたこと：_____
6. その他気になったこと：_____
7. その他気になったこと：_____
8. その他気になったこと：_____

問いに変換するワーク

書き出した種の中から気になるものを選び、「なぜ」「どうすれば」「どちらが」「どのくらい」のいずれかの言葉を使って問いの形に書き換えます。

気になること	問いの形に変換
(例)コンビニのおにぎりの種類が地域で違う気がする	なぜ地域によっておにぎりの具の種類は違うのか

仮説を立てる欄

前のワークで作った問いに対して、今の時点で自分がこう思う、という予想を書きます。合っているかどうかはこの後の調査で確かめます。正解を当てにいく必要はありません。

問い	仮説(今の時点での予想)	そう考えた理由
(例)なぜ地域によっておにぎりの具の種類は違うのか	地元でよく食べられている食材が具に使われているから	地域の名産品をよく見かけするため

調べる方法を計画する欄

仮説を確かめるために、何をどうやって調べるかを計画します。書籍・論文・統計データ・アンケート・インタビュー・観察のいずれかの方法に書き分けます。

確かめたいこと	調べる方法	入手先・実施先	いつまでに
(例) 具の種類が地域で違うか	近隣3店舗の商品を記録して比較する	近所のコンビニ	____月 ____日

進捗を記録する欄

作業した日付と、やったこと、わかったこと、次にやることを記録します。次に取り組むときにここを見れば続きから始められます。

日付	やったこと	わかったこと・詰まったこと	次にやること
(例) ____月 ____日	近隣3店舗の具の種類を記録した	想定より品数が少なく、比較材料が足りなかった	店舗数を増やして再調査する

詰まったときは

問いに変換する言葉が思いつかないときは、「もし〇〇だったら」「〇〇と〇〇はどちらが」の形も試せます。仮説が思いつかないときは、正解を出そうとせず「今の自分ならこう予想する」で一度書き進めます。調べる方法が決まらないときは、まず身近な範囲(学校の図書室・家族・近所)で確かめられることから計画します。